

# 町民みんなのできえよう

## トリムセンター・子育て支援センターの取り組み

楽しみにしていた赤ちゃん。けれども新米お父さん・お母さんにとって子育ては不安や迷い、心配ごとも多いはず。社会環境が変化する中、本町においても人口減少に伴う核家族の増加、少子化という問題が見られるのが現状です。

今回は、子育ての現状と町が行う子育て支援についてご紹介します。

### 子育ての現状 〜保健師の声〜

女性の社会進出や晩婚化など女性の生き方が変化している現在、子育てに対する考えもさまざま。その中で、育児は難しく感じがちになってきています。

少子化や核家族化により、親となる人々が現実に育児に直面する前に、赤ちゃんや子どもと触れる機会が少なくなっています。実際に小さな子を目で見たり、触れたりした経験がなく、モデルになるものがない中で育児をしなければならぬのです。情報だけはたくさんあっても、生きた情報を得にくく、どれを選択すればよいのかもわからず悩みがちです。



高校生赤ちゃんふれあい事業

「いんです」と聞きますが、母親同士がお互いに踏み出せず、関係性が築きにくい状況が見られます。日常的に会話ができても消えるのではと思うのですが、夫婦間でも気兼ねない関係が築きにくくなっているように感じます。



さらに、自分の行っている育児が、誰かと、あるいは多くの人と同じであることに重きを置いています。もしそこに違いがあると、とても気になり、強い不安を抱くようです。子どもはとも早く成長し、それぞれに成長の過程は違います。それが当たり前です。

また、女性の生き方が変化してきていることに、周囲が理解しきれず「育児とはこういうものだろう」「育児は女性なら誰でもできる」という偏った考えがあるのではないかと思います。母親のリフレッシュに関して、まだまだ理解されにくい状況となっています。



### 地域で気持ち良く子育てができる環境を

地域の皆さん、町内で子どもを連れていらっしゃるお父さん、お母さんを見かけたら、「お子さんかわいいね」と声を掛けてあげてください。そして、「上手に子育てしているね」と、毎日の育児でちよっぴり疲れている親の労をねぎらってあげてください。

育児真っ最中のお母さん、無理なくいいんです。誰でも育児は難しいものです。気分転換も必要です。誰かに思いを発信してみてください。子どもが泣いていても外に出て、地域の皆さんに声をかけてもらってはいかがでしょうか。



### 子育て支援センターをご存じですか？

子育て支援センターでは、育児に対する身体的、心理的負担を抱えているお父さん・お母さんに対し、地域全体で子育てを支援する基盤形成を図っています。

①子育て支援活動の企画、調整、実施をしながら子育て家庭などに対する育児不安についての相談・指導。②子育てサークルへの育成・支援。③地域保育需要に応じた特別保育事業の実施。④地域の子育て家庭に対する育児支援を実施しています。

### ママたちの交流の場

子育て支援センターには、さまざまな年代、出身地もお子さんの人数も違うお母さんたちが集まる場所です。もちろん、子育てに対する悩みもさまざま。共通点は、子育て真っ最中のお母さん。そんなお母さんたちが集まり、お子さんの成長や日ごろの出来事を話す場の一つになっています。

また、お母さん向けの活動も実施。子育て支援センター利用者ママを講師に招き「ストレッチ&ヨガ体操」などで、お母さんたちがリフレッシュできる活動をしています。



ストレッチ&ヨガ体操

### 子育て支援センターでの主な活動内容

- 【支援センター開放日】 室内や戸外で子どもと保護者、保護者同士交流の場となります。
- 【一時保育・休日一時保育】 支援センターでお子さんをお預かりします。
- 【子育て支援センター行事】 親子で楽しめる、季節に合わせた活動をしています。親子乗馬あそび・バス遠足・ハロウィン・節分・ひなまつりなど。
- 【あそびサークル活動】 毎月（1〜2回）開催しています。0歳〜就学前までの親子が対象となります。



お誕生会の様子